

平成27年度 豊能町立東能勢小学校 学校評価報告

学校評価(平成27年度) I

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【ア;情報を伝える。説明する。考えや思いを聞く。】 ◎教育の方針や活動状況を児童・保護者・地域の人々に適切に伝える。 ◎児童・保護者・地域の人々の願いや思いを受けとめ、教育活動に反映させる。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○学校だより、保健だより、学級・学年だより、学力向上担当通信(「すくすく」、図書館だよりの発行 ○全国学力学習状況調査結果報告 ○ホームページの運営 ○PTA総会での紹介 ○参観授業 ○海洋学習・修学旅行説明会 ○作品展 ○入学説明会 ○家庭訪問 ○個人懇談 ○学習発表会 ○見守り隊結成式 ○PTAとの協働 ○学校だよりの各自治会への配布 ○地域の方からの聞き取り</p>
<p>③学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の4項目である。 ◇各項目ごとの本年度と昨年度、一昨年度の「とてもそう思う」と「だいたいそう思う」の合計である。 ◇保護者集計は()に、児童集計は<>に、教職員集計は<<>>に入れた。いずれも(本年度, 昨年度, 一昨年度)の順とした。</p> <p>(1)学校は、教育方針や指導の様子を分かりやすく伝えている。 (8 5 % , 83%,89%) < --% , --% , --% > << 8 8 % , 82%,82% >></p> <p>(3)学校は、保護者や地域の人たちと協力して教育活動を進めようとしている。 (9 0 % , 88%,85%) < 9 6 % , 93%,86% > << 9 4 % , 82%,65% >></p> <p>(8)通知表の評価や記録は、適切でわかりやすい。 (8 4 % , 77%,84%) < 9 1 % , 86%,89% > << 8 2 % , 88%,77% >></p> <p>(9)学校は、子どものことで困った時、相談にのろうとしている。 (8 5 % , 83%,63%) < 8 4 % , 77%,77% > << 1 0 0 % , 88%,88% >></p> <p>この領域における保護者と児童の評価は、いずれも昨年度の評価を上まわっていた。学校と家庭と地域の距離がより近くなったことを素直に喜びたい。</p> <p>本校の特性として、園小中とほぼ同じ集団で過ごしていくことがあげられる。そのため積極的に多くの人と関わりを持つことが求められる。(3)の項目で高い評価を得られたことを弾みとして、より多くの人との関わりを持ち、視野の広がった育みを行える取り組みを講じていきたい。</p> <p>また、(9)の項目では、教職員が傾聴的姿勢をもって丁寧に対応することを心がけている結果として、保護者評価の上昇に続き、児童の評価も上昇している。今後も継続的に意識して丁寧に取り組んでいきたい。</p>
<p>④学校関係者評価 (学校協議会等からの提言)</p>	<p>学校・家庭・地域が一体となり児童の成長を見守ることが大切である。学校での取り組みを積極的に明示し、その結果を評価するという方策を今後検討実施されたい。</p> <p>また、児童にとって相談できる先生の存在はとても大きい。児童・保護者ともに、肯定的評価が増加していることは、学校の姿勢や取り組みが評価されていると思われる。ただし、その内容は、児童・保護者の願いと教職員の意識がより合致するように継続されたい。</p>

学校評価(平成27年度)Ⅱ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【イ;仲間をつなぐ。集団を育てる。地域連携を深める。】</p> <p>◎思いを仲間と共有する。お互いのよさを認め合う。集団・社会のルールを大切にす る児童を育てる。</p> <p>◎人権教育をすべての教育活動の基盤において取り組む。</p> <p>◎地域の方との交流を大切にし、豊かな文化の育成をめざす。</p> <p>◎義務教育9年間の子どもの育ちを見守り、支援する。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○縦割り清掃 ○学級・班あそび ○全校あそび(児童会) ○朝レク ○交流弁当 ○各種社会見 ○学習発表会 ○運動会 ○海洋学習 ○修学旅行 ○わくわくKID'S ○遊びの出店 ○地域探検 ○米づくり ○専門部・クラブ活動 ○昔あそび ○児童会・生徒会・地域の方々の合同挨拶運動 ○園小交流会 ○中学校クラブ・授業体験 ○小中合同研修会 ○縦割りあそび ○平和登校日 ○人権参観 ○花いっぱい運動 ○人権講演会(パラリンピックキャラバン) ○地域施設との交流 ○芸術鑑賞会 ○学級・学年だより発行 ○つづり方発表 ○地域の方からの聞き取り ○生活アンケート・いじめ体罰アンケートの実施</p>
<p>③学校教 育自己診 断・授業評 価等定量 的評価及 び定性的 自己評価 内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の4項目である。</p> <p>◇各項目ごとの本年度と昨年度、一昨年度の「とてもそう思う」と「だいたいそう思う」 の合計である。</p> <p>◇保護者集計は()に、児童集計は<>に、教職員集計は《 》に入れた。いずれ も(本年度, 昨年度, 一昨年度)の順とした。</p> <p>(2)子どもは、楽しく学校生活を送っている。 (94%, 94%, 93%) < 94%, 87%, 82% > 《 82%, 88%, 71% 》</p> <p>(4)学校は、こども園や中学校との連携を効果的に進めようとしている。 (82%, --%, --%) < --%, --%, --% > 《 59%, --%, --% 》</p> <p>(10)学校は、いじめのない仲間づくりに取り組んでいる。 (81%, 79%, 71%) < 92%, 87%, 82% > 《 88%, 82%, 88% 》</p> <p>(12)子どもたちは、あいさつしたり感謝の気持ちを伝えたりしている。 (79%, 72%, --%) < 95%, 95%, --% > 《 --%, --%, --% 》</p> <p>(2)の項目では、多くの児童・保護者が肯定的に評価しているものの、それぞれ6% そう思っていない現状がある。また、(10)の項目について評価の上昇はあるものの、そ うでない割合は見過ごせない現状である。一人ひとりが尊重され、仲間とともに楽しく 成長できるよう集団のあり方や人権に関する取り組みを考えていく必要がある。</p> <p>(12)の挨拶については、子どもの意識と大人の感じ方とにずれがある。相手に気持 ちが伝わる挨拶ができる子どもに育てていかないといけない。</p> <p>さらに上記のことは、園小中で連携した取り組みになることが必要である。(4)の項 目の結果も踏まえて、次年度の取り組みを検討していきたい。</p>
<p>④学校関 係者評価 (学校協議 会等からの 提言)</p>	<p>昨年に引き続き落ち着いた学校生活が実現できている。このことが、学校 が楽しい、いじめを許さないなど仲間・集団を育てる取り組みにとって極めて 重要である。学校は、道徳教育や学習規律指導、いじめの取り組みなどを 教職員一丸となって、取り組んでもらいたい。</p> <p>挨拶について、子どもは大切さを理解しているが、大人が思い描くように 表現できていない面もあるのではないかと。周囲の大人が当たり前のこととし て行動し、見本を示すことが必要であると思われる。</p>

学校評価(平成27年度)Ⅲ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【ウ;学習を組織する。意欲を育てる。】 ◎学力の向上をめざし、学習における基礎・基本の定着をはかる。 ◎教育課程の実施状況に関する自己評価に関わる研究を進める。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○ティームティーチングでの授業 ○少人数分割授業 ○習熟度別授業 ○漢字検定 ○自学自習週間 ○補充学習(お助け道場・夏の学習室) ○朝読書活動 ○本の帯コンクール ○読書感想文コンクール ○家読の推進 ○修学旅行 ○各種社会見学 ○授業スタンダード(約束事の統一)の確立 ○授業力向上校内研修 ○道徳に関する校内研修(研究授業含) ○校外での研修・研究活動への参加、発表 ○学力診断テストの実施と分析 ○全国学力学習状況調査結果の分析 ○町教委・府教委からの学校訪問 ○学校教育自己診断による自己評価の実施 ○学校協議会による学校評価 ○授業アンケートの実施 ○校長・教頭による授業評価と指導</p>
<p>③学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の2項目である。 ◇各項目ごとの本年度と昨年度、一昨年度の「とてもそう思う」と「だいたいそう思う」の合計である。 ◇保護者集計は()に、児童集計は<>に、教職員集計は<<>>に入れた。いずれも(本年度, 昨年度, 一昨年度)の順とした。 (6)学校の算数・国語での複数教師による指導は、学力向上に役立っている。 (77%, --%, --%) < --%, --%, --% > << 76%, --%, --% 国算の平均 >> (*)算数の授業は、よくわかる。 (*)国語の授業は、よくわかる。 < 90%, 85%, 88% > < 93%, 86%, 86% > (11)学校は、学習や生活のきまりをしっかりと指導している。 (87%, 83%, 80%) < 94%, 92%, 88% > << 94%, 88%, 71% >> (11)の項目の結果と算数・国語に対する児童の意識から、落ち着いて学習に取り組む、理解も進みつつあることがうかがえる。しかし、実態テスト等の結果を見ると学習の定着に課題も出ている。また、(6)の項目の評価を見ると、より効果的な指導方法を考えていく必要性に迫られている。「楽しく、工夫された、わかりやすい授業」の研究をさらに進め、「全ての子がわかる」ことをしっかりめざしていきたい。</p>
<p>④学校関係者評価(学校協議会等からの提言)</p>	<p>学力向上の分野では、保護者の評価や教職員の自己分析が低い項目があるのが気がかりである。複数教師による指導の良し悪し等、学校及び児童の課題を明確にし、わかりやすい具体的な目標設定をし、教職員の一致した取り組みを図られたい。そして、児童の「授業はよくわかる」という評価が、実態テスト等の結果につながるようになることを期待する。</p>

学校評価(平成27年度)Ⅳ

<p>① 設定目標 【ねらい】</p>	<p>【エ;心身の健康を増進させる。】 ◎心身の健康・食・安全について考え、スポーツを楽しむ児童を育成する。 ◎命や体を大切に、生活の向上をめざす児童を育てる。</p>
<p>② 本年度の 取り組み</p>	<p>○朝レク ○運動会 ○マラソン大会 ○ジョギングタイム ○全校あそび ○夏季水泳 ○非行防止教室 ○交流弁当 ○歯科衛生士によるブラッシング指導 ○交通安全教室 ○着衣泳 ○海洋学習 ○栄養教諭による食育授業 ○見守り活動 ○避難訓練(不審者・火災・地震) ○毎朝の登校指導・毎週の班チェック ○防災マニュアルの見直し ○校内安全点検 ○登下校メールサービス・緊急メールの運営</p>
<p>③学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>◇関係するアンケート項目は、以下の2項目である。 ◇各項目ごとの本年度と昨年度、一昨年度の「とてもそう思う」と「だいたいそう思う」の合計である。 ◇保護者集計は()に、児童集計は<>に、教職員集計は《 》に入れた。いずれも(本年度, 昨年度, 一昨年度)の順とした。</p> <p>(5)学校は、子どもたちの安全確保に努めようとしている。 (87%, 82%,86%) < 96%, 93%,84% > 《 94%, 100%,88%》</p> <p>(7)学校は、子どもたちの体力を高めるためにしっかり取り組んでいる。 (80%, 80%,82%) < 89%, 80%,78% > 《 59%, 83%,65%》</p> <p>(5)の項目では、保護者・児童の評価結果がともに上昇した。特に、児童の肯定的評価が高い割合になってきている。安全は、命にも関わることなので、結果に満足することなく、100%にしていけないといけない。これは、避難訓練等の取り組みだけでなく、日々常に意識しながら児童の安全確保に努めていくことが求められると自覚していきたい。また、登下校の見守りやピックアップ訓練等、保護者とボランティアのみなさんの協力を得ながら、地域全体で児童の安全確保をしていく体制を引き続き考え取り組んでいきたい。</p> <p>(7)の項目では、体力づくりに取り組んでいる実感を持った児童が増えてきていることがうかがえる。これは、体育授業の工夫や朝レクやジョギングタイム等の取り組みの成果であるととらえたい。今後は、単に体力向上だけを求めるのではなく、運動する楽しさやできた時の喜びを実感できるように意識して取り組んでいきたい。</p>
<p>④学校関係者評価 (学校協議会等からの提言)</p>	<p>児童の安全確保では、肯定的評価が増えている。学校内や通学路での努力が理解され、評価できる。 体力向上の面では、教職員の自己評価が低い。何をめざし、どこが取り組み不足であったのかを明確に示してほしい。 次年度以降も、児童の心身の健康増進のため、多くの行事や取り組みを検証しながら実施されたい。</p>